

東はりま甲南会報

第 12 号

発行
平成21年5月1日



ごあいさつ

東播磨甲南会
(旧制理科 昭和10年卒)
会長 森 滋郎
医療法人達磨会
東加古川病院 理事長

昭和十年理科乙を卒業しました森です。

父が開業医でしたので、私も医者になることにして大阪大学医学部に入學しました。昭和十四年卒業後は軍医をして中支方面(満州)に従軍し、弾の下をくぐり三度負傷しましたが、幸い軽傷でした。戦死して靖国神社にまつられれば『天皇陛下がお参りして下さい』と思い、常に第一線で従軍しておりました。幸い無事帰国して此度は余命を人のために尽くそうと思い、現在に到っております。

この度は100年に一度の世界恐慌だそうですがこれを取り切るにも健康でないとはいけません。皆さん、先ず糖分の取り過ぎに注意次に、塩分に気を付けて、甲南会のネットワークを大切にこの難局を乗り越えて下さい。



ごあいさつ

学校法人 甲南学園
理事長 吉沢 英成

東播磨甲南会の皆様、今年も元氣よく17回総会をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。甲南学園90周年募金につきましては、温かいご支援ご配慮を賜り誠にありがとうございます。あと2年ほど継続しておりますので引き続き高志頂戴できればこれに過ぎる喜びはありません。さてこの四月二十一日に90周年の記念式典を催すことができました。東播磨甲南会からもご臨席を賜り、盛会のうちに終えることができました。また90周年を記念してこの四月より、CUBE西宮(阪急西宮北口)にマネジメント学部が、そして甲南FAMEポートアイランドにはフロンティアサイエンス学部・大学院と先端生命工学研究所が開設あるいは移設されました。いずれも新しい学び舎で合計二百五十人ほどの第一期生が新しいスタイルの学びを活気に充ちて開始いたしました。



ごあいさつ

甲南大学同窓会
会長 水野 正人

平素より、東播磨甲南会の皆様方の愛校心溢れる活動に心より敬意を表します。

「甲南会」は、甲南の創立者平生鈺三郎先生の建学精神である徳を高め、身体を鍛え、知を磨き、各々が持つ卓越した個性を伸ばす学び舎、「甲南」の絆で結ばれた集いです。会員相互の親睦を図り、約束事は決して裏切る事の無い会員同士の協力をもって互いに幸せを分かち合い、同時に私達の母校「甲南」が胸を張って誇れる学園に発展する事を願い、協力する目的をもって活動が進められています。東播磨甲南会として年間の行事をより楽しく魅力溢れる価値の高いものとし、より多くの会員の動員を図り、円滑に推進し成果を上げられるよう役員の方々が一枚岩で任

伊藤忠兵衛翁が平生鈺三郎先生の教育のエッセンスをつぎのように表現しておられます。重ねて味わう価値のあるものだと思います。

ヨキカラダ ヨキ考工 少シデモ 世ノ中ニ ツクシ
ウル 人間ニソダツテ モライタイシ、制度上 デハ
画一的ナ 教育ヲ サケ、個々ノ 人間ノ 才能ヲ
ノバシウル 教育ヲ ツツケタイ

この理想は90周年を迎え、そして100周年へ向け発展しようとしている学園にとって不易のものです。教育をとりまく環境が大きく変化するなか、この理想を実現することはなかなか難しいことですが、「個性を力へ。」をモットーに掲げ、少しでも理想に近づくよう努めています。マネジメント創造学部は21世紀の寺子屋教育を実現しようとし、そして、ポートアイランドの新キャンパスでは先端的な研究成果を顕著にあげている先端生命工学研究所が牽引するファーストクラスのフロンティアサイエンス学部がスタートしました。これら二つの新学部は、画一的な教育をさけ、個々の人間の才能をのばしうる教育を展開し、東と西に広がる翼となつて岡本キャンパス本體をも飛翔させる力を必ずや発揮します。東播磨甲南会の甲南OBの皆様には「ヨキカラダ ヨキ考工...」を胸に、甲南学園にご期待下さいますようお願い申し上げます。

務に当たられるよう期待しております。

2007年問題はご存知のように少子化が顕在化し、大学の大競争時代に突入しました。大学間のブランド格差が顕在化し多くの大学が生き残りを掛けてブランド力向上に対策を具体化しています。また、昨年アメリカで起こった金融恐慌から世界不況が日本経済にも大きな影を落としています。甲南生は皆で頑張つてこの危機を乗り越えて行くうではありませんか。

さて、甲南学園は今年、90周年を迎えるに当たり記念募金活動を推進しております。この厳しい時代に「甲南」を誇れる母校に発展できるように募金活動に大きな協力をお願い申し上げます。この募金は甲南学園の教育の中に平生精神の一層の浸透を図ることや、甲南スポーツ強化に向けて六甲アイランドのスポーツ施設の充実、そして老朽化した甲南高校中学体育館の建替え等を目的としています。

甲南の絆で母校の発展を支えるために、同窓会・甲南会活動と併せて募金活動にも会員の皆さんの絶大なご協力を心よりお願い申し上げます。

東播磨甲南会第17回総会のご案内

● 開催日：平成21年5月30日（土）

● 時 間：受付開始 17:00

総 会 17:30～17:50

懇 親 会 18:00～19:30

（会費：男性8,000円 女性6,000円 当日集金）

二 次 会 20:00～（会費 3,000円 当日集金）

● 場 所：加古川プラザホテル2F

（JR加古川駅より徒歩4分 TEL 079-421-8877）

※ 出席のご連絡は、同封の【出席確認票】で5月16日までに

東播磨甲南会事務局（有）共立サービス TEL 079-426-0088）へ

FAX（079-426-0089）でお願いします。



特別寄稿

三木甲南会

活動報告

三木甲南会 副会長
ヤマヒデ食品（株）
村岡 初美

三木甲南会は三木市（三木・吉川）在住の卒業生の中から、会の趣旨にご賛同いただいた方約80名で構成しております。年に一回、総会と称した集いを開き、皆さんで楽しいひとときを過ごしております。

平成18年には仁川・阪神競馬場のVIPルームにおいて競馬観戦を行いました。平成19年には市内のホールをお借りしてホームコンサート・ギターとシャンソンの夕べを開きました。普段の多忙な日々から少しの間だけ離れ、音楽と美味しい食事では有意義な時間を過ごしていました。

なかなか会員全員の参加は難しいのですが、それでも時間を作ってお越しいただけた方が50名程度お

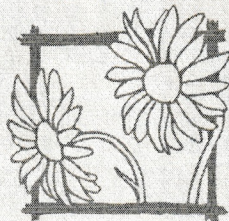


られます。有り難い事です。平成20年には食事会を開いております。三木甲南会は老若男女、年齢層が幅広く、皆さんに喜んで

いただける様、皆で楽しもう会を motto に趣向をこらした活動をしております。

東播磨甲南会の皆様のご参加を心よりお待ちしております。さらに近隣の甲南会の方々と交流を深め、より広い甲南同窓生の輪を作っていきたいと考えております。

東播磨甲南会のますますの盛会とご活躍を三木甲南会一同心より応援しております。



近況報告

柴田 五郎



ここでは近況というより大学時代の思い出を話したいと思っています。私は身体にハンディを負ったこともあり、私に出来るスポーツは何か？卓球なら出来るかなと、小学生のとき友達と講堂の片隅にあった卓球台で遊んだのが最初で、以降、中高、大学と学生時代は卓球オンリーの生活でした。

赤松 泰朗



実は私昨年7月初めに、若いころの無理がたたったのか？突然の大病を患い、40日あまりの入院と自宅療養の後、3ヶ月ぶりの10月より無事仕事に復帰しました。緊急手術前は、命の危険

澁谷 哲志



何事も石の上にも三年と言いますが、我慢と努力は大切なことと考えます。阪神高速で事故に遇い、動けぬ状態の病院のベッドで子供に会った時、当時6歳の長男の「生きていてはいいです。」の一言で今までこれたような気がしました。妻をはじめ家族には別の意味で死の淵のどん底から救ってくれたと感謝しています。

今ではアラフォー世代となり日に日に老いて行く自分を感じ、大学生時代の一、二40時間あっても足りなかったようにはいきま

お陰で、練習はきつかったのですが、試合や大会で全国各地に遠征できることが、一番の楽しみであったことを覚えていいます。昨年は大庫さんや澤本さんからゴルフのお誘いを受けたのですが、日程が合わず参加できませんでしたが、最近ゴルフを始めたところで、メンバーさんにご迷惑をお掛けするものと存じますが、今年はお仲間に入れていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

私の場合は幸運も重なり元気に回復しましたが、みなさんとも体が資本ですので、自分だけは大丈夫と過信せず、くれぐれも無理はなさらず、体のメンテナンスにも気を配っていただきたいと思います。

また甲南会では元気な姿を見せたいと思います。よろしくお願ひいたします。

せんが、はじめて30歳代半ばの体力が必要だなと感じ体重も15kg落として上半身だけにはがんばって鍛えていますよ。今は車椅子バスケットを20歳代の人に混ざって遊ばせてがんばっています。実際やってみると健康な自分ではできなかっただろうと思うぐらいに大変でした。皆さんパラリンピックを見てこれ位だったなら自分でもできるのと勘違いしたことないですか。僕も頑張れば行けるかなと思ったくらいなんです。が、老眼でも出来るスポーツを探さないといけませんね。

二度と歩は出来ないようですが外出したりスポーツをしたりして新しい人生を楽しもうかなと考えています。「怪我をすることで自分の生き方が間違つてたのかな。神様がリセットをしてくれるのを押したのだな。」と考えています。そういう意味では非常識に樂觀視していいです。でも人一倍負けず嫌いな私は何事も無かつた様に人生を過ごすかと考えております。どうぞ皆様もその様に私を励ましご指導頂けたら幸いです。障害者には厳しい社会に成らない様に声を大にして祈っております。

東播磨甲南会ゴルフコンペ開催のご報告



配置により冷え込むとの前日からの予報のとおり、当日は寒く後半は風も強くなっていました。しかしながら、その秋空は、いたって快晴ゴルフ日和となり、スムーズにラウンドは終了しました。

結果の方は、優勝は大西信良様、準優勝は樋口克亘様、3位は大庫俊介様となりました。(ダブルペリア) 優勝、準優勝はお二人そろって2年連続という快挙になりました。「グリーンが難しかったな。」という感想が多かったように、わたしも含めて、大方はグリーンに手を焼いておられたようです。懇親会の後、クラブハウス前で記念撮影をして、お開きとなりました。

今年は、下田様、永田様に新たににご参加いただき、ワイワイガヤガヤと親睦を得ることができました。来年は加古川ゴルフ倶楽部を予定しております。次回こそは参加者をもっと増やしたいなと思います。皆様ご協力お願いいたします。

平成6年理学部卒
行政書士澤本事務所

澤本武司

平成20年度事業報告
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

平成20年 2月 8日 三木甲南会出席
平成20年 5月 2日 機関紙「東はりま甲南会報」第11号発行
平成20年 5月31日 総会
平成20年 6月15日 宝塚甲南会出席

平成20年度会計報告

(平成20年4月1日～
平成21年3月31日)

歳入	臨時会費	264,000
	支部援助金	150,000
	預金利子	1,336
	前年からの繰越金	758,677
	合 計	1,174,013

歳出	総会費	204,385
	機関紙発行、送付費	181,890
	他甲南会、参加費	15,000
	臨時役員会	5,460
	慶弔費	10,000
	前期末払金	12,495
	次年度への繰越金	744,783
	合 計	1,174,013

※上記の通り、収支は正確であると認めます。監査人 西尾 淳

平成21年度事業計画(案)

平成21年 5月 1日 機関紙「東はりま甲南会報」第12号発行
平成21年 5月31日 総会
随 時 ・ 友好支部総会へ表敬訪問 ・ 幹事会、役員会
・ ゴルフ同好会親睦コンペ開催

平成21年度予算(案)

(平成21年4月1日～
平成22年3月31日)

歳入	入会金	10,000
	臨時会費	300,000
	支部援助金	150,000
	前年からの繰越金	744,783
	合 計	1,204,783

歳出	総会費	300,000
	機関紙発行、送付費	200,000
	他甲南会、参加費	30,000
	次年度への繰越金	674,783
	合 計	1,204,783

高阪学長を迎えて第16回総会



会員増に向けた活動方針などが報告されました。

総会後は、高阪学長が「創立者 平生鈆三郎と甲南学園」と題して講演し、平生の人生を教育、自立、奉仕の3つの時代に分けて解説。苦学した生い立ちをはじめ、経営者として神戸から日本の経済を盛り立てた歩み、奉仕活動で地域のみならず国際的にも貢献した晩年の活動を紹介し、その人間の器の大きさと、甲南学園開学の基本となった精神の偉大さを説かれました。

また、高阪学長は「学生の可能性を追求し、独特の光彩を放つ大学になるよう、甲南の教育・研究の場にもっと平生イズムを反映させていきたい」と話されました。

懇親会では、来賓や会員同士の語らいや、抽選会を楽しみ、大盛況のうちに学園歌の大斉唱で締めくくりました。

役員による後日の反省会では、学長の講演を受け、「混沌とした時代に今こそ、平生鈆三郎の精神に学ぼう」という声も上がりました。(昭和62年文学部卒 富居雅人)



東播磨甲南会 入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。

- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出ていただくか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。

事務局

〒675-0012
加古川市野口町野口116-1
(有)共立サービス 三宅隆宏 気付

東播磨甲南会

TEL 079-426-0088
FAX 079-426-0089
E-mail konan@kyoritu.co.jp



今回は、三木甲南会の皆さんに無理をお願いして、活動の様子を紹介していただきました。写真を拝見すると女性会員も積極的に活動に参加されている様子。東播磨甲南会の女性会員の皆さんも是非、総会にご参加ください。(Y・I)

編集後記